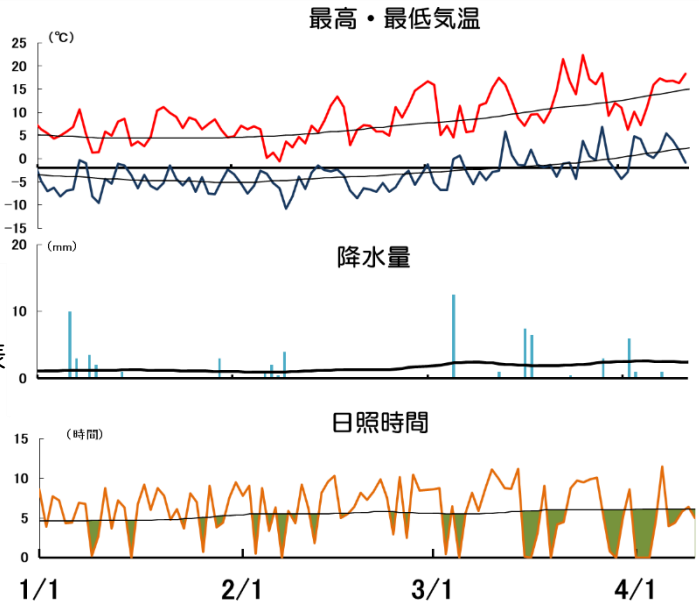
登米地域の麦作技術情報　第３号

令和７年４月１５日発行　　宮城県登米農業改良普及センター
Tel　0220-22-6127　　HP　https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/et-tmsgsin-n/

１．気象経過

１月から４月上旬にかけて、降水量が平年より少なく、特に２月は平年比 23%と極端に少なくなりました。

１～２月の平均気温は平年並みで推移しましたが、３月下旬の平均気温は平年より 2.5℃高くなりました。



【東北地方の１か月予報】（4/12～5/11）
令和７年４月１０日　仙台管区気象台発表

- 平均気温は、高い確率６０%です。
- 特に期間のはじめは気温がかなり高くなる見込みです。
- 降水量は、平年並または多い確率ともに４０%です。
- 日照時間は、少ない確率５０%です。

２．調査ほ及び管内の生育概要

4月10日現在の生育状況

品種	町域		播種日（月/日）	草丈（cm）	茎数（本/㎡）	葉色（SPAD）	幼穂長（mm）	幼穂形成期（月/日）
あおばの恋	豊里	本年値	10/27	35.5	566	38.5	2.7	4/4
		前年比・差	-7	88%	69%	—	-5.1	+17
【参考】夏黄金	中田	本年値	10月下旬	24.3	608	—	4.8	3/25
	豊里	本年値	10月下旬	26.4	1831	—	3.5	3/27

※夏黄金はあおばの恋と調査方法が異なるため参考数値である。

あおばの恋は、３月下旬の強風の影響で葉が砂等で擦れ、生育が停滞したと考えられます。その後回復傾向ですが、草丈、茎数、幼穂長は前年を下回り推移しています。

あおばの恋は４月４日頃、夏黄金は３月下旬に**幼穂形成期に達しています。**

今後の生育ステージ予測（４月１０日調査）

品種	町域	播種日（月/日）	幼穂長（mm）	予測日 減数分裂期（月/日）	出穂期（月/日）	開花期（月/日）
あおばの恋	豊里	10/27	2.7	5/2	5/12	5/21
【参考】夏黄金	中田	10月下旬	4.8	4/28	5/6	5/17
	豊里	10月下旬	3.5	4/30	5/8	5/18

※出穂期等の推定は麦類生育ステージ予測シートver4.0による。

あおばの恋の出穂期は**５月１２日頃**、夏黄金の出穂期は**５月８日頃**と推定されます。
今後も気温は高く推移することが予想されており、出穂期が早まる可能性が高いです。ほ場をよく観察し、追肥や防除のタイミングを逃さないようにしましょう。

３．これからの管理のポイント　　適切な追肥と防除の徹底

１）追肥

減数分裂期追肥は１穂粒数を多くし、穂揃期追肥は千粒重、容積重、子実たんぱく質含有率を高めます。

小麦では品質を確保するために、減数分裂期と穂揃期に追肥を行いましょう。ほ場条件や品種、生育量、追肥の前歴などによって追肥量を調整しましょう。

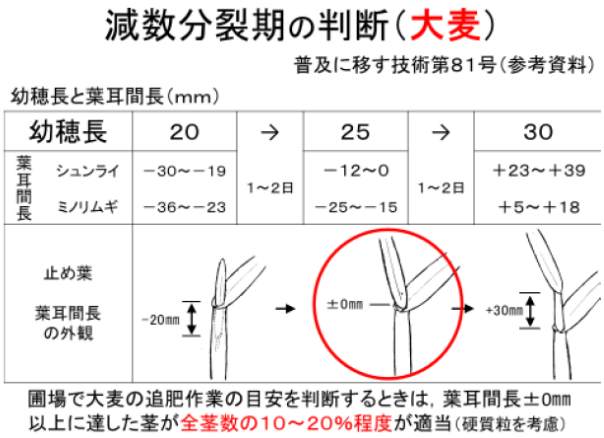
大麦では穂揃期に追肥すると硝子率が高くなるなど品質が低下するので、追肥時期は減数分裂期までにしましょう。

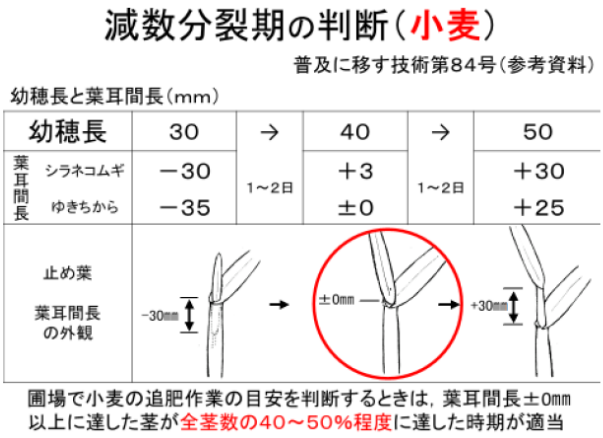
☆追肥量の目安

単位：　kg/10a

品種		施肥量		幼穂形成期 幼穂長が 2～3mm	減数分裂期 幼穂長が3～5cm 止め葉の葉耳間長が±0mm 出穂10～15日前	穂揃期 出穂した茎が80%
大麦	シュンライ ミノリムギ ホワイトファイバー	窒素成分量		2～2.5	2～2.5	―
		現物量	硫安 （N：21%）	9.5～12	9.5～12	―
			尿素 （N：46%）	4.3～5.4	4.3～5.4	
小麦	シラネコムギ あおばの恋 夏黄金	窒素成分量		2.5	2.5～5	2.5 （夏黄金：5kg/10a）
		現物量	硫安 （N：21%）	12	12～24	12 （夏黄金：24kg/10a）
			尿素 （N：46%）	5.4	5.4～10.8	5.4 （夏黄金：10.8kg/10a）

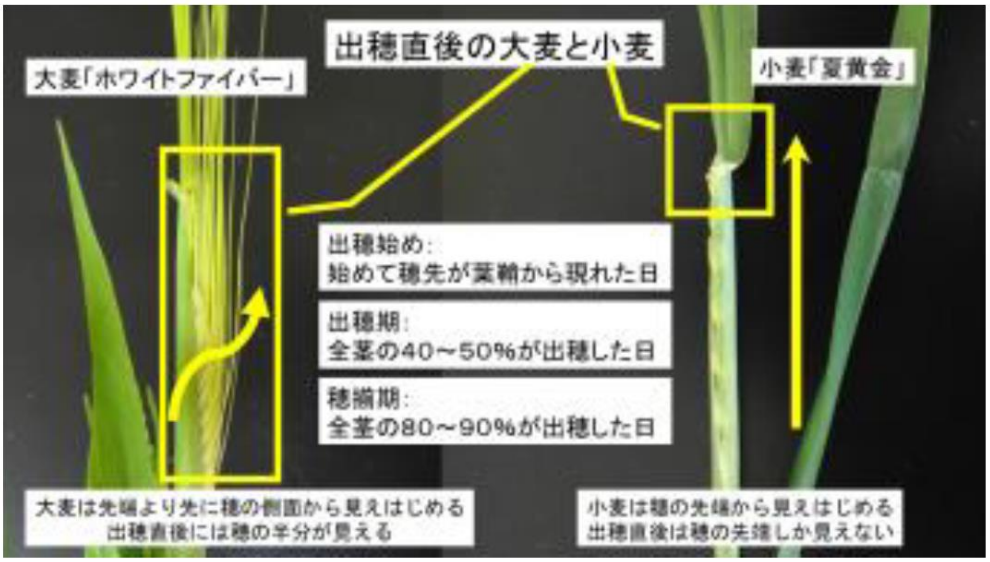
〇減数分裂期の推定方法





大麦では葉耳間長±0cm以上に達した茎が**全茎数の10～20%程度**、小麦では葉耳間長±0cm以上に達した茎が**全茎数の40～50%程度**に達した時期が減数分裂期と推定されます。ほ場を確認し、適期追肥の判断に活用してみましょう。

〇穂揃期
　ほ場の全茎数の８０～９０％が出穂した日です。出穂の判断は下記写真を参照して下さい。

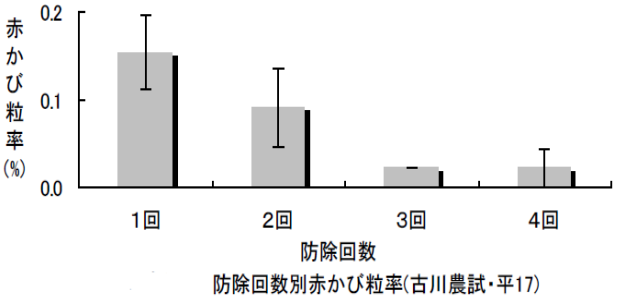


写真：出穂直後の麦の穂

２）赤かび病の防除

　赤かび病の防除は、基本は**「２回防除」**です。１回目は**「開花始期～開花期」**、２回目は**「１回目の７～10日後」**に防除を行うようにしましょう。特に開花期の防除効果は最も高いため、１回目の防除時期は厳守しましょう。雨が続く場合は追加防除も検討しましょう。

　また、赤かび病に対する抵抗性が低い**夏黄金**は３回の防除を行いましょう（３回目は２回目の７～10日後）。



防除回数別赤かび粒率(古川農試・平17)

令和７年度　農作業安全運動（令和７年３月１日～令和７年６月30日）

徹底しよう！農業機械の転落・転倒対策